



## 「ありがとうございます」の言葉

先日、児童昇降口前の廊下を歩いていると6年生の子どもたちが小さな紙を持っていました。私が「何しょっとね？と声をかけると」、子どもたちは、掲示されていた給食の先生への感謝の言葉を書いた友達の吹き出しの紙が下に落ちていたので、のりで貼っているということでした。吹き出しを貼る位置が少し高い所にあっただので、吹き出しを私が代わって貼ってあげました。その後、その場を離れようとする「ありがとうございます。」と言ってくれました。当たり前のような出来事ですが、「ありがとうございます。」の言葉を聞いて何とも言えない心地よさを感じました。

「ありがとう」という言葉は、自分や自分に関係のある人等に対して、良い行動をしてくれた相手へのお礼の気持ちをこめた言葉です。そこには、「相手のことを考えて行動する」、「自分ために行動してくれた相手のことを考える」という双方向の思いやりの気持ちがあります。

しかし、時々「ありがとう」の言葉が出てこない場面を子どもの世界でも、大人の世界でも目にして残念な気持ちになることがあります。

子どもたちが自分のことを思いやってくれた相手の気持ちに気づき、「ありがとう」という言葉を伝えることができる、感謝の気持ちが飛び交う、そんな筑後小学校にしていきたいと思いました。

## 小学校の生活にもだいぶ慣れました

1年生が入学してもうすぐ2ヶ月となります。入学当初は、登校後の宿題の等の提出や給食等、6年生や職員が支援していました。しかし今では、「一人で出来る」、「自分たちで出来る」ようになってきました。又、集中して先生の話の聞いたり、みんなの前で発表することもできるようになってきました。

新型コロナウイルスの感染予防のため、マスクの着用や席を話しての静かな給食等制限のある生活が続いていますが、1年生の子どもたちも学習や生活の約束を守りながら頑張ってくれていることをうれしく思っています。先は見通せませんが、少しでも早く制限のない生活に戻ることを願うばかりです。



## 教わる、教える



掃除の時間は、1年生と6年生がペアで活動し「膝を床について」、「雑巾は、真横に」と拭き方等を1年生に教えてくれています。それぞれにとって「教える」、「教わる」よい経験になっていると思います。

## タブレットを活用した授業



国のGIGAスクール構想を受け、一人ひとりにタブレット端末が配付されています。

まずは、基本的な操作方法を身に付けていくことから始めています。  
(6年生の学習の様子)

## マスクを頂きました



4年生の久富ゆうきさんのおばあさんより、写真のような子ども用のマスクを頂きました。手作りの素敵なマスクです。大切に使用して頂きたいと思っております。ありがとうございました。

## 行事計画を変更しました

5月12日から緊急事態制限の対象地域に福岡県が指定されたことを受け、予定していた運動会を秋に延期しました。それに伴い行事計画を一部変更しておりますのでお知らせします。

(旧)		(新)
5月21日(金) 運動会	→	10月23日(土) 運動会
11月14日(土) 文化発表会	→	2月28日(月)
2月28日(月) 6年生を送る会	→	文化発表会・6年生を送る会

## 【校長のつぶやき】

私は、子どもの頃山で育ちました。夏は川で魚獲り、春は竹で作った刀で雑草切り、秋は、柿やザクロ等の山の味覚を堪能していました。そのため、小刀やのこぎり等は日常的に使っていたので使うことに困ることは、ありませんでした。今の子どもたちには、それは無縁かもしれませんが、その代わりにパソコンやスマホ等の操作には、驚かされます。小刀やのこぎりに代わる現代のスキルを身に付けているのだと感じています。